

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

研究機関名	市立豊中病院
倫理委員会承認日	2018年11月21日
研究期間	2019年3月31日 まで
研究の名称	本邦における若年子宮体がん妊孕性温存治療についての調査研究
研究対象	子宮体がん(子宮内膜異型増殖症を含む)に対し妊孕性温存を目的とて初回治療を受けた方
対象材料	診療記録
対象期間	2009年1月～2013年12月
研究の目的意義	子宮体がんの標準治療は手術による子宮摘出ですが、妊娠を強く望む若い女性で子宮内膜に限局していると思われる高分化型類内膜腺癌、および子宮内膜異型増殖症(類内膜上皮内腫瘍)においては、子宮を切除せず黄体ホルモンによる子宮温存治療も行われる場合があります。しかしながら、本邦における若年子宮体がんの子宮(妊孕性)温存療法の実態についての詳細は不明です。本研究では、久留米大学産婦人科を研究事務局として、日本産科婦人科学会の婦人科腫瘍登録を行っている施設を対象に診療内容を調査し、治療の効果やその後の管理の方法、温存治療の本来の目的である、その後の妊娠についてなど多くの情報を集めます。全国規模のかつてない多数例の情報の集積により、治療適応の拡大の可能性を探ると同時に、安易な温存治療がなされていないかどうかを検証し、治療の質の担保と安全な普及についての提言を行うことを本研究の目的としています。
方法	参加施設で若年子宮体がん妊孕性温存治療を受けられた患者さんの臨床データを集めます。特に新たに患者さんにご提供いただくものではありません。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理する。研究結果から個人が特定されることはない。
問い合わせ先	市立豊中病院 産婦人科 辻江 智子 TEL 06-6843-0101